

第二次

新磯公民館振興計画

～未来に向かって生き生きと生活できる、住みよい地域のために～

第3期活動計画

令和4年3月（活動計画改定）

相模原市立新磯公民館

目 次

1.	第二次新磯公民館振興計画について	1
2.	第2期活動計画の評価・見直しの方法	1
3.	第2期活動計画期間の状況	
(1)	施設利用状況	2
(2)	公民館主催事業の実施状況	3
4.	第2期活動計画の評価	
(1)	第2期活動計画の評価	4
(2)	評価委員会等の提案・意見	7
(3)	第3期活動計画策定に向けた課題	8
5.	第3期活動計画の策定	
(1)	第3期活動計画策定に向けて	9
(2)	第3期活動計画	10
(3)	第二次新磯公民館振興計画体系図（改訂版）	別紙
6.	第2期活動計画の見直しの経緯	12
7.	新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員会委員	13

1. 第二次新磯公民館振興計画について

第二次新磯公民館振興計画は、地域の特性をとらえた様々な活動を通して地域社会に貢献し、生涯学習の拠点として活動するための方向性や目標を示すものですが、政令指定都市への移行や圏央道相模原インターチェンジの開設などの社会情勢の変化に対応するため、平成27年4月に10年間の計画として策定されました。

策定にあたり、計画期間内における公民館を取り巻く環境や利用者ニーズの変化などに対応するため、3、4年ごとに公民館活動の現状分析、課題の整理をふまえて、活動計画を見直すこととしました。

第1期活動計画	平成27年度～29年度
第2期活動計画	平成30年度～令和3年度
第3期活動計画	令和4年度～6年度

そのため、第2期活動計画の最終年度である令和3年度に、1年間をかけて、第2期活動計画の評価・見直しを行い、第3期活動計画を策定しました。

2. 第2期活動計画の評価・見直しの方法

今回の活動計画の評価・見直しについては、新たに、新磯公民館運営協議会に「新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員会」（以下、評価委員会という。）を設置し、第2期活動計画の評価・見直し、第3期活動計画の策定を行いました。

評価委員会では、各専門部による自己評価書の作成などの方法により、評価等を実施することとしました。

3. 第2期活動計画期間の状況

(1) 施設利用状況

表1 新磯公民館利用状況

年度	利用者数	利用団体数	1団体当たりの 人数	利用率
平成26年度	43,365	3,350	12.9	54.8
平成27年度	40,468	3,193	12.7	53.4
平成28年度	38,997	3,175	12.2	52.7
平成29年度	40,125	3,186	12.6	53.0
平成30年度	43,968	3,175	13.8	40.1
令和1年度	31,574	2,708	11.7	36.9
令和2年度	9,608	1,318	7.3	26.8

表2 参考 旧4町地域の公民館を除く23公民館の利用状況

年度	利用者数	利用団体数	1団体当たりの 人数	利用率
平成26年度	1,434,348	113,414	12.6	68.1
平成27年度	1,514,941	115,515	13.1	66.0
平成28年度	1,481,175	113,991	13.0	65.4
平成29年度	1,457,080	112,428	13.0	63.8
平成30年度	1,274,681	101,538	12.6	53.2
令和1年度	1,112,806	90,878	12.2	49.2
令和2年度	345,531	42,378	8.2	34.9

※旧4町地域の公民館（城山、津久井中央、青根、相模湖、千木良、藤野中央、沢井、牧野、佐野川）

※利用率とは、実際に利用したコマ（時間区分）数を全てのコマ数で割った値

平成29年度以降、利用団体数、利用者数ともに回復傾向にありましたが、令和1年からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休館等により大きく減少しています。表2の「23 公民館の利用状況」においては、利用団体数、利用者数ともに減少傾向が続いています。

これは、少子高齢化や人口減少、活動場所の多様化、若者・子育て世代にゆとりがないなど様々な社会的な要因が考えられます。

また、月曜日、土・日・休日より、火曜日から金曜日の方が、利用率が高く、これは市全体の傾向であると思われます。

一方で、新磯公民館の利用率は、表2で示した利用率と比較して、すべての年度で10ポイント以上の差が生じており、利用率の向上に向け引き続きサークルの育成などの工夫が必要となっています。

(2) 公民館主催事業の実施状況

年度		学級・講座	講習会	発表・展示会	大会	つどい	全体
平成26年度	事業	12	4	1	2	6	25
	参加者	1,279	173	1,000	1,919	1,327	5,698
平成27年度	事業	11	4	1	2	6	24
	参加者	1,138	224	1,000	1,885	1,135	5,382
平成28年度	事業	11	6	1	2	6	26
	参加者	1,167	224	1,100	110	1,222	3,823
平成29年度	事業	15	7	1	3	5	31
	参加者	1,376	248	1,200	2,113	1,312	6,249
平成30年度	事業	16	8	1	2	6	33
	参加者	1,476	242	1,100	2,268	1,644	6,730
令和1年度	事業	22	8	1	3	5	39
	参加者	1,528	212	0	2,252	1,436	5,428
令和2年度	事業	18	5	3	3	4	33
	参加者	0	0	0	0	0	0

この表は、新磯公民館の専門部や実行委員会が行った事業の推移ですが、平成28年度は、天候の影響により事業が中止となり参加者が大幅に減少しています。令和1年度からは健康元気部の設置に伴う事業数の拡大により、主催事業数の急激な伸びがありましたが、新型コロナウイルス感染の拡大に伴う影響による参加者数の減少があり、令和2年度は事業が全く実施できなかったため事業数、参加者数ともに0となっております。コロナ以降は、事業のスクラップアンドビルドにより、事業内容の精査を実施していくことも必要となっております。

4. 第2期活動計画の評価

(1) 第2期活動計画の評価

第2期4年間の事業結果については、新磯成人学級の有志から「歴史と文化・伝統のあるまち」新磯の魅力をPRするために「新磯コンシェルジュ」が発足しました。また、館報とホームページ等のそれぞれの良さを活用し、魅力的な広報を発信することを目的に公民館組織の再編を行い「広報部」を設置しました。しかし、活動計画期間の後半（令和2年・3年度）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館、事業中止等の影響を大きく受け、できる範囲での事業実施となりました。

評価委員会の評価は、以下のとおりです。

第2期活動計画	評価
全体	
3年間の重点目標	
(1) 新磯らしい自然を生かした事業（農業体験、自然観察など）の充実	・子ども、親子が川に住む生き物にさわる機会や、しめ縄づくり、味噌づくりなど、地域の自然や伝統文化に親しむ事業を実施できた。 ・家庭教育、子育て支援や、男性向けの講座を実施することができた。
(2) 未来志向で事業を展開（シリーズ化など）	
(3) 情報発信力の向上（転入者などへの発信）	
(4) 自治会との新たな連携事業の検討	

(5) 地区内の各種団体（小中学校、こどもセンターなど）との連携強化	・ニュースポーツは、数年間の単位で継続的に事業を実施し、地域への普及を図っている。 ・専門部の再編を進め、終了した。
(6) 専門部等の組織再編の調査検討	
(7) 若者・男性をターゲットとした事業の充実	
学習・文化事業	
(1) 地域住民が気軽に参加し、仲間をつくり、共に学び楽しむことのできる魅力的な事業の実施	・参加者の固定化があるが、少しずつ新しい参加者や、準備委員のかかわりがあり、プログラム内容にも変化があった。 ・若い世代や、男性・若者の参加を呼び込めるような事業の展開が必要である。 ・参加者同士の親睦や交流を進めていきたい。内容や時間等に工夫をすることが大切と考える。
(2) 学びのきっかけとなる事業の実施	
(3) 地域の自然、文化に親しむ事業の実施（収穫体験、しめ縄作り）	
体育・レクリエーション・健康づくり事業	
(1) スポーツ・レクリエーションを通じて、地域住民の親睦と連帯及び新しいスポーツの普及を図る事業の実施	・レクリエーション大会や球技大会など、地域住民の親睦、連帯を図る事業が実施できている。 ・ニュースポーツを継続的に実施し、普及が図られている。 ・地域の健康づくりにかかわる様々な事業が展開できており、子どもから高齢者まで多くの参加者を得ている。 ・コロナ禍で事業実施に大きな影響を受けた。
(2) 健康づくり普及員協議会との連携等による健康の維持増進のための事業及び子育て支援事業の実施	
(3) スポーツ・レクリエーションサークル等の自主的な活動の支援と推進	

青少年事業	
(1) 青少年が興味や関心を持ち、自主的に参加できる事業の実施	・子ども達が事業を通じて、自然体験やモノづくりなどの経験をすることができた。
(2) 青少年が地域の人々とのふれあい、交流のできる事業の実施（地域の団体との共催事業の検討、他地域との交流も検討）	・子どもや青少年が地域の方々と交流する機会づくりを進めていきたい。
(3) 地域の自然、文化に親しむ事業の実施（収穫体験、しめ縄作り）	・J r リーダーが参加する事業が少なく、研修等を実施する機会が限られてしまった。
(4) 自ら企画するなどの活躍する場の提供及び地域リーダーの養成支援	・相陽中学校（吹奏楽部・演劇部・科学部の発表、協力ボランティアの依頼）、新磯小学校（生徒の発表の場の提供）との連携及び学校を通じたチラシ配布など公民館事業の周知をしている。
	・コロナ禍で大きな影響を受けた。特に学校との連携は実施できないものがあった。
広報事業	
(1) 新磯の魅力を発信（自然、歴史、新情報）	・新磯を知る、魅力を紹介する取り組みを行うことができた。
(2) 発信媒体の有効活用（協力団体情報の提供や連携）	・ホームページの即時性、館報の紙面づくりなどを生かした内容となった。
(3) 情報資源の統一、組織再編の検討	・コロナ禍で、様々な事業が中止となり、十分な紹介ができないものもあった。

(2) 評価委員会等の提案・意見

評価委員会では、第2期活動計画について改善点などを提案するため、実際に事業を運営している各専門部から自己評価書を提出してもらい、評価・見直しを行いました。

その結果として、評価委員会から出された提案・意見は以下のとおりです。

評価委員会等からの提案・意見	
計画全体	
	地域のよさ、魅力を生かした事業の実施が必要
	子育て世代や、若者・男性をターゲットとした取り組みが必要
	新磯の次世代づくりに繋がる取り組みの充実が必要
	部横断的な事業の展開が必要
	今日的な課題に対応した事業実施が必要
学習・文化事業	
文化展	・参加型企画の取り組みによる公民館活動の活性化 ・地域の方々の交流のある事業、持続性のある事業 ・公民館活動の理解促進と地域文化の向上
成人学級	・幅広い世代の参加 ・地域の魅力の再発見 ・地域人材の活躍の場の創出
体育・レクリエーション・健康づくり事業	
スポーツのつどい	(ソフトバレー・ファミリーバドミントン、グラウンドゴルフ) ・新スポーツの普及、継続的な事業の推進 ・地域の各種団体等との情報共有と連携強化
健康ウォーキング	・地域住民の親睦、交流拡大による地域連帯づくり ・体力づくりを通じて、地域の健康の輪を広げる
楽しく体操講座	・身体、心肺機能の活性化と健康維持 ・様々な対象者への健康づくり活動の普及

青少年事業	
デイキャンプ	・参加者の学年構成でレクリエーションを変更 ・メニューを隔年・3年サイクルにするなどの工夫 ・子ども目線での工夫（企画参加・毎年変化を）
Jr・Sr・青少年部合同研修会	・Jr.リーダー等が活躍する場の創出 ・小・中学校との連携 ・高校生等の組織化
広報事業	
公民館の魅力発信の充実	
発信媒体の有効活用	
特色を生かした紙面づくり	

(3) 第3期活動計画策定に向けた課題

第2期活動計画については、概ね目標を達成することができましたが、少子高齢化社会や新型コロナウイルス感染拡大などの影響により利用者の減少が続いており、新たな利用者の発掘も進んでいない現状です。

評価委員会からも、より良い公民館事業を実施するための意見として、地域のよさ、魅力を伝える事業や、子育て世代や若者・男性の参加促進策の検討、新磯の次世代づくりの取り組みなど、公民館の活性化や利用者拡大に向けた努力の必要性が求められました。

また、公民館を利用したことがない方へ向けた情報発信の充実や、自治会、学校、こどもセンターなど各種団体・機関との連携や関係強化の必要性も示されました。

さらには、地域課題や子育て、子ども支援、デジタル化への対応などの今日的な課題に取り組むことも必要となっています。

5. 第3期活動計画の策定

(1) 第3期活動計画策定に向けて

少子高齢化社会の影響により公民館を取り巻く環境、課題は大きく変化しています。過去数年間において、利用者数は横ばいの状態が続いており、子育て世帯や男性、若者などの新たな利用者層の掘り起こしや、今日的な課題への取り組みへの強化などが求められています。また、これからの公民館活動を担っていく専門部員や協力者など、新磯の次世代育成の視点を持ち行動することが必要となっています。

これらの課題等に対応するため、次のような様々な取り組みを進めていきます。

全体
＊3年間の重点目標を設定 ・新磯らしい事業や継続的事業(シリーズ化)事業の実施 ・公民館の魅力の発信と魅力ある事業展開 ・地域内の各団体・機関等との連携強化 ・子育て世帯や、男性、若者の参加促進
学習・文化事業
・学びのきっかけ作り ・地域人材の活躍の場の創出 ・地域文化を意識した企画
体育・レクリエーション・健康づくり事業
・新スポーツの普及 ・各種団体等との情報共有 ・年間を通しての事業実施 ・事業内容による幅広い連携
青少年事業
・毎年参加したくなるような事業の工夫（学年ごとに役割が違ふ、毎年内容を変えるなど） ・子どもたちの活躍する場の提供 ・新磯の次世代づくりのための継続事業の実施
広報事業
・発信媒体（館報、ホームページ等）の有効活用 ・魅力的な公民館づくりのため発信 ・SNSの活用、充実

(2) 第3期活動計画

第3期活動計画策定に向けた取り組みを実現するため、第3期活動計画を次のとおりとします。

第3期活動計画では、新たに3年間の重点目標を設定し、次のような事業を実施していきますが、新型コロナウイルス感染の拡大により、第2期活動計画において実施できなかった事業についても、引き続き取り組むこととします。

次期活動計画	
3年間の重点目標	
1.	新磯らしい自然を生かした事業(農業体験、自然観察など)の充実
2.	青少年等を対象とした継続的(シリーズ化)な事業展開
3.	情報発信力の向上(転入者などへの発信)
4.	自治会連合会との連携事業の推進
5.	公民館がもつネットワークの活用
6.	地域内の各種団体・機関等(自治会、小・中学校、こどもセンターなど)との連携強化
7.	若者・男性などターゲットを絞った事業の実施
8.	今日的な課題(子育て・子ども支援やデジタル化)に対応した事業の実施
9.	自主企画事業を支援し、サークル化を推進
学習・文化事業	
1.	地域住民が気軽に参加し、仲間をつくり、共に学び楽しむことのできる魅力的な事業の実施
2.	地域の人材が活躍できる場の創出(新磯コンシェルジュなど)
3.	地域の自然、文化に親しむ事業の実施(農業体験、しめ縄作り、季節のかざり等)
4.	家庭教育、子育て支援、子ども支援関連事業の実施

次期活動計画	
体育・レクリエーション・健康づくり事業	
1.	スポーツ・レクリエーションを通じて、地域住民の親睦と連帯及び新しいスポーツの普及を図る事業の実施
2.	健康づくり普及員協議会との連携等による健康の維持増進のための事業及び子育て応援事業の実施
3.	スポーツ・レクリエーションサークル等の自主的な活動の支援と推進
青少年事業	
1.	青少年が興味や関心を持ち、自主的に参加できる事業の実施
2.	青少年が地域の人々とのふれあい、交流のできる事業の実施 (地域の団体との共催事業の検討、他地域との交流も検討)
3.	地域の自然、文化に親しむ事業の実施（農業体験、自然観察）
4.	自ら企画するなどの活躍する場の提供及び地域リーダーの養成支援（育成する仕組みづくり）
広報事業	
1.	新磯の魅力を発信（自然、歴史、新情報）
2.	発信媒体の有効活用（協力団体情報の提供や連携）
3.	魅力的な公民館づくりのための発信
4.	S N Sによる情報発信の充実

6. 第2期活動計画の見直しの経緯

令和3年 7月15日	第1回新磯公民館運営協議会にて ・新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員会の設置が承認された。 ※第2期活動計画の改定を行うことが承認された。
8月7日	第1回新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員会を開催 ・各専門部に自己評価書の提出依頼（9月10日まで）をした。 ・今後の進行スケジュールについて確認をした。
9月18日	第2回新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員会を開催 ・各委員から自己評価書の説明を受け、個々の評価について意見等を伺った。 ・第2回新磯公民館運営協議会までに、評価等のまとめを行い、報告をする。
10月7日	第2回新磯公民館運営協議会にて ・評価策定委員会にて集約した評価書について、報告された。 ・第3回新磯公民館運営協議会に第3期活動計画（案）を提示することとした。
11月13日	第3回新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員会を開催 ・第3期活動計画（試案）に基づき意見等の集約を行った。
12月16日	第3回新磯公民館運営協議会にて ・第3期活動計画（案）について報告を行い、意見等を伺った。 ・第3期活動計画（案）の方向性について承認された。
令和4年 1月～2月	第3回新磯公民館運営協議会の結果を受け、各専門部の年間事業計画に反映させる。
3月17日	第4回新磯公民館運営協議会にて ・第3期活動計画の承認

7. 新磯公民館振興計画活動計画評価策定委員

令和4年3月17日現在

伊藤 孜	委員長、新磯公民館利用団体協議会長
難波 稔	新磯公民館 文化部長
富田 清重	新磯公民館 体育部長
日下部 洋吏	新磯公民館 青少年部長
比嘉 敏恵	新磯公民館 健康元気部会計
米田 シヅエ	新磯公民館 広報部長
太下 なおみ	運営協議会公募委員

第二次新磯公民館振興計画

～ 未来に向かって生き生きと生活できる、住みよい地域のために ～

平成17年	3月	当初新磯公民館振興計画作成
平成20年	1月	当初新磯公民館振興計画（活動計画一部改正）
平成22年	12月	当初新磯公民館振興計画（活動計画一部改正）
平成27年	3月	第二次新磯公民館振興計画作成
平成30年	3月	第二次新磯公民館振興計画改正 第2期活動計画承認
令和 4年	3月	第3期活動計画承認

編集・発行 相模原市立新磯公民館
〒252-0327 相模原市南区磯部916-3
電 話 046-256-1900
F A X 046-256-1901
メールアドレス araiso-k@city.sagamihara.kanagawa.jp